

14. 警報器が作動したときは

煙を感知すると次のように音声警報「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と警報灯(赤色)でお知らせします。



■火災のとき
火元を確認し、避難してください。
119番へ連絡するなど適切な処置をしてください。

■火災でないとき
火災以外でも、次のような場合、警報をお知らせすることがあります。
警報停止ボタンを押すか、室内を換気すると警報が止まりますので、警報器を外したり、電池を抜いたりしないでください。
・スプレー式殺虫剤や、ヘアスプレーなどが直接かかったとき。
・たばこの煙を警報器に吹きかけたとき。
・調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
・線香や蚊取り線香などの煙を発生させたとき。

警告 音声警報が「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と鳴ったとき、電池コネクタを抜かないでください。また、コネクタを抜いた状態の警報器は絶対に取り付けしないでください。火災の感知ができなくなります。警報停止ボタンを押すと、警報音が止まります。煙流入口に煙が残っている場合は約5分後に再び音声警報が鳴ります。換気などを行うことにより警報は自動的に止まります。

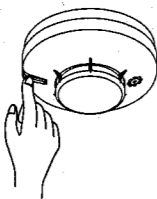
15. 音声警報の停止方法

■音声警報が「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と鳴っているとき
警報停止ボタンを押してください。

約5分間音声警報が停止します。約5分後に再度音声警報が鳴動する場合は、うちわなどで煙流入口に風を送り、煙を検知部から排除してください。

■音声警報が「ピ、(電池切れです。)」または「ピピピ、(異常です。)」と鳴動しているとき

速やかに新しい警報器と交換してください。
音を止めたいときは、警報停止ボタンを押してください。
約24時間音声警報が停止しますが、その間は警報灯が約10秒間隔で1回または3回点滅します。



16. 故障かな?と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。下記の対処を行っても直らない場合は、お客様サービスセンターまでご連絡ください。

症状	原因	対処
■何も操作していないときに・・・		
火災でないのに「ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。」と鳴り、警報灯が点灯。	火災以外の煙(埃、殺虫剤など)を警報器がキャッチしています。	警報停止ボタンを押すか、警報器内の煙がなくなるまでお待ちください。また、火災以外で音声警報が多発する場合は、取付場所を変えてください。
約1分間隔で「ピ」と鳴り、警報灯が1回点滅。	機器交換の目安(電池寿命)です。	新しい警報器または電池と交換してください。
約1分間隔で「ピピピ」と鳴り、警報灯が3回点滅。	センサーの感度が劣化しています。	新しい警報器と交換してください。

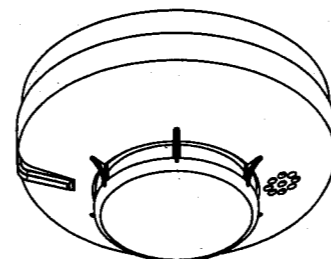
■テストをしたとき(ボタンを押したとき/引きひもを引いたとき)に・・・

何も音が鳴らない。	電池の未接続が考えられます。	電池コネクタが正しく接続されているか確認してください。
	警報器の故障か電池切れが考えられます。	新しい警報器または電池と交換してください。
「ピピ、ピ、電池切れです。」と鳴り、警報灯が1回点滅。	機器交換の目安(電池寿命)です。	
「ピピ、ピピピ、異常です。」と鳴り、警報灯が3回点滅。	センサーの感度が劣化しています。	新しい警報器と交換してください。
「ピピ」と鳴る。	火災警報を停止中です。	約5分間経過の後、再度テストをおこなってください。

TN51220

取扱説明書

住宅用火災警報器 煙式(光電式2種、自動試験機能付)



ホーム火災センサー SM-D0300

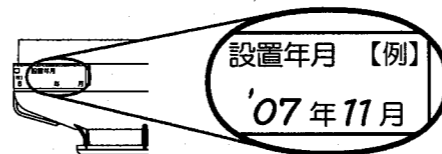
(電池式、10年タイプ)
日本消防検定協会 鑑定合格品

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご愛用のほどお願いいたします。なお本取扱説明書はいつでもお読みいただけるように大切に保管してください。
この取扱説明書は保証書を兼ねています。

SECOM
セコム株式会社

取付工事・引渡時のお願い(必ずご確認ください)

- ご購入時は、警報器と電池は外れた状態になっています。ご使用になるときは、警報器と電池コネクタをしっかりと接続してください。
- 警報器の側面に「設置年月」を消えにくいマジックペン等を使って楷書ではっきりと記入してください。



- 警報器の保証期間は、お引渡しから10年間です。保証には、「販売店または工事店名」と「引渡年月日」の記入された保証書が必要です。お引渡しの際には、必ずご確認ください。

販売店様または工事店様へ
・この「取扱説明書(兼保証書)」を必ずご利用者様へお渡しください。その際、保証書欄に「店名」ならびに「引渡年月日」を必ずご記入ください。

仕様

型名	SM-D0300	機器の有効期限	約10年間
種別	住宅用防災警報器	音量	1mにて70dB以上
鑑定型式番号	鑑住第19~58号	外形寸法	φ98mm×43mm
感知方式	煙感知方式(光電式2種)	警報器質量	約130g(電池約25gを含む)
定格	DC3V、300mA	使用温度範囲	0℃~40℃
電源	リチウム電池(CR17450E-R-CN14)	復旧	自己復旧方式
試験機能	自動試験機能付		

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

1. ご使用になる前に

- ・この商品は、火災の煙をキャッチして音声警報で知らせる住宅用火災警報器です。
- ・この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品です。(消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。)
- ・お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには必要に応じて、複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめします。

2. 安全上の注意

- ・本警報器を正しくお使いいただくために、この取扱説明書にはいろいろな注意事項を記載しています。注意事項の表示は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	【安全上の注意】 取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が重傷または軽傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
注意	【安全上の注意】 取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

3. ご使用上の注意

本警報器は火災で発生する煙をキャッチして音声警報で知らせるもので、消火装置や火災防止器ではありません。火災には十分ご注意ください。

本警報器は絶対に分解・改造したり、針金など異物の挿入はしないでください。また、落下などにより強い衝撃を与えた機器は使用しないでください。

本警報器は設置場所の煙をキャッチして、音声警報を発します。日頃、人のいない部屋に設置する場合は音声警報が聞こえることを確認のうえ設置してください。また、次のような場合は音声警報に気付かないことがありますので注意してください。
・薬を服用後または飲酒後に就寝した場合。
・就寝部屋以外で警報器が作動した場合。
・交通、ステレオ、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きい場合。

本警報器は直接煙が入らない場合は作動しません。また、次のような火災では作動しないことがありますので注意してください。
・火のまわりの早い火災
・煙の発生しない火災
・ガス漏れや薬品による爆発的な火災

本警報器は屋内型ですので、屋外での使用はおやめください。

電池がなくなった時は音声警報は鳴りません。

くん煙式の殺虫剤など、多量のガスが発生する薬品を使用する場合は、誤報や電池の消耗につながるため、警報器を取り外してください。

殺虫剤や化粧のスプレー、煙草の煙を警報器に直接かけないでください。誤報の原因になります。

煙または蒸気がかかるおそれのある場所、煙等が滞留するおそれのある居室には取り付けしないでください。誤報の原因になります。

警報器に耳を近づけて音声警報を聞かないでください。聴力障害などの原因となる恐れがあります。

4. 警報器の設置基準、届け出について

設置基準は自治体の条例により異なります。また、設置届けの提出が必要な自治体もありますので、くわしくは所轄の消防署にお問い合わせください。

ホーム火災センサー 保証書

品名 ホーム火災センサー (SM-D0300)

万一取扱説明書などの注意書に従ってご使用されたにもかかわらず故障した場合は、本書に記載された保証規定により無料交換いたします。本保証書は、本保証書記載内容で無料交換をお約束するもので、万一の火災による損害を補償するものではありません。

保証期間	引渡日から10年間	引渡年月日	年 月 日
------	-----------	-------	-------

<保証規定>

- 上記保証期間内において、取扱説明書などの注意書に従ってご使用されたにもかかわらず故障した場合は、下記の連絡先にご連絡ください。
- 当社より、交換用機器を無料で送付いたします。原則として修理は行いません。
- 保証期間内でも、次のような場合は有料となります。
 - (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (4) 車両・船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本保証書は日本国内でのみ有効です。

<お客様へのお願い>

- 本保証書は、本書に明示した期間、保証規定に従い無料交換をお約束するものです。従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 上記無料交換適用外の場合または保証期間経過後の故障により交換が必要となった場合に要する費用は、全てお客様の負担とさせていただきます。
- 保証期間内に無料交換した場合であっても、保証期間は、当初の保証期間となります。
- ご不明な点は、下記の連絡先にご連絡ください。

販売元: **セコム株式会社** URL: <http://www.secom.co.jp>
東京都渋谷区神宮前1-5-1 〒150-0001
本機器に対するお問い合わせは、下記へお願い致します。

お客様サービスセンター(フリーダイヤル24時間受付)
0120-756245

販売店または工事店(店名、住所、TEL)

5.特長



本警報器は、初期火災で発生する煙をキャッチし、音声警報でお知らせする住宅用火災警報器です。火災発生時には「ピー、ヒュー、ヒュー」火事です。火事です。」という音声警報で火災をお知らせします。

■警報器の機器交換の目安は約10年

本警報器は電池で動いています。約10年間の機器交換の目安まで電池交換なしでご利用いただけます。電池寿命が近づくと、約1分間隔で「ピ」と鳴り、警報灯が1回点滅し、警報器の交換時期をお知らせします。また、約30分に1回「ピ、電池切れです。」という音声警報が鳴ります。

音を止めたいときは、警報停止ボタンを押すと、約24時間音声警報が停止します。

(音声警報停止中は警報灯が約10秒間隔で1回点滅します。)

	機器交換の目安を越えて使用すると、汚れなどにより内部に煙が流入しにくくなり、火災の感知が遅れる可能性があります。10年を経過した警報器は、速やかに新しい警報器と交換してください。
	警報音が約1分間隔で「ピ」と鳴り、警報灯が1回点滅したら、機器交換の目安(電池寿命)です。速やかに新しい警報器と交換してください。火災の感知ができなくなる場合があります。


※警報器の交換の目安は約10年ですが、使用温度やホコリなどの使用環境や使用条件によって短くなる場合があります。

■警報器は自動試験機能を有しています

本警報器は、センサーの感度が劣化して正常に煙を監視できなくなった場合、自動的に異常をお知らせする、自動試験機能を有しています。異常を検出すると、約1分間隔で「ピピピ」と鳴り、警報灯が3回点滅します。また、約30分に1回「ピピピ、異常です。」という音声警報が鳴ります。

音を止めたいときは、警報停止ボタンを押すと、約24時間音声警報が停止します。

(音声警報停止中は警報灯が約10秒間隔で3回点滅します。)

	警報音が約1分間隔で「ピピピ」と鳴り、警報灯が3回点滅したら、センサーの感度が劣化しています。速やかに新しい警報器と交換してください。火災の感知が遅れる場合があります。
--	--

6.商品のご確認

次のものが揃っていることを確認してください。



- ①警報器 (1個)
- ②取付ネジ (2本)
- ③取扱説明書 (本書)
- ④取付ベース (1個)
※出荷時に警報器に取り付けてあります。
- ⑤専用リチウム電池 (1本)
CR17450E-R-CN14
公称電圧 DC3V
※市販品ではありません。

7.各部の名称と働き

- ①取付ベース、取付ネジ
警報器を天井または壁に取り付けるために使用します。
- ②煙流入口
ここに煙が入ることにより警報器が煙を感知します。
- ③警報停止ボタン兼警報灯 (テストボタン兼用)
・音声警報を止めたいとき:
→ボタンを押してください。
・テストをしたいとき:
→ボタンを押してください。
音声警報により状態をお知らせします。
・警報時、赤色に点灯または点滅します。

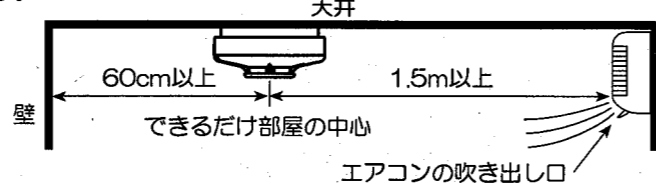
※引きひもを取り付ける場合、別途指定のひもが必要となりますので、お客様サービスセンターまでご連絡ください。

8.警報器の取付場所

■本警報器は次のような場所への設置をおすすめします。

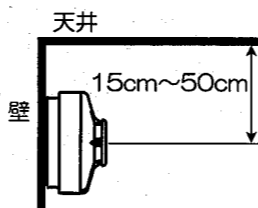
- ・寝室
- ・階段や廊下、居室、台所


■天井面に取り付ける場合は壁または梁から水平距離60cm以上離します。



■換気口やエアコンなどの空気吹き出し口から1.5m以上離してください。

■壁面に取り付けるときは天井面下15cmから50cmまでの範囲で部屋の中心に取り付けてください。警報停止ボタンが下になる方向に取り付けてください。



	警報器は必ず正しい取付場所に取り付けてください。次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因および正常に火災を警報できない可能性があります。
---	--

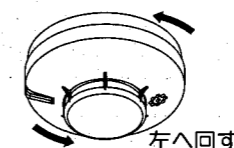
次のような場所には取り付けしないでください。



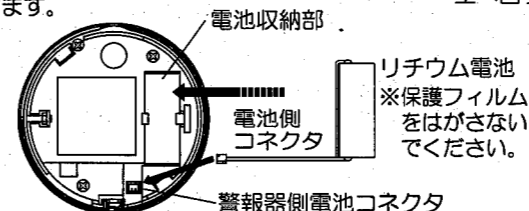
・警報器は0℃~40℃の温度範囲内で結露しない場所に取り付けてください。

9.警報器を取り付ける前に

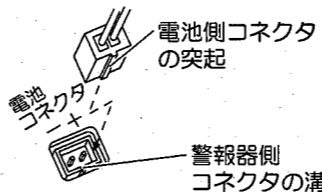
- 警報器と取付ベースを外します。
・取付ベースを押さえ、警報器を左に回して取り外してください。





■電池を取り付けます。



- ・電池側コネクタと警報器側電池コネクタを接続してください
- ・警報器の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。このとき、電線を電池と収納部の間に挟まないようにしてください。警報器が取付ベースに取り付けられなくなります。




図のように電池側コネクタの突起と警報器側電池コネクタの溝をあわせて、奥までしっかりと接続し電池収納部に電池を納めます。

	電池は必ず付属のものをお使いください。(付属以外のものを使用すると、故障の原因になります。)
	コネクタを奥までしっかりと接続し、電池を正しく収納してください。正しく接続されていない場合、警報器が作動せず、音声警報が鳴りません。(電池を取り付けた後、必ずテストボタンを押して作動確認を行ってください。なお、電池取り付け後、約3秒間は作動しません。)

10.警報器の取付方法

次の手順にしたがって警報器を取り付けてください。

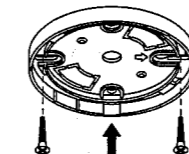
	警報器の取り付けは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してけがをする可能性があります。
---	--

■設置年月および引渡年月日を記入してください

警報器の側面に取付工事した年月を記入してください。工事店にあれば、本取扱説明書にある保証書に引渡年月日を記入してください。

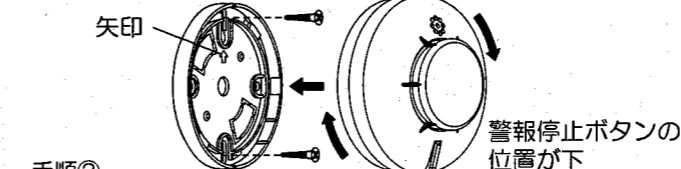
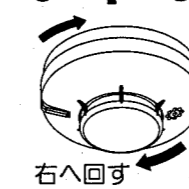
■天井に取り付けるとき

- 手順①
天井面の梁などが通っている場所に、取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。
- 手順②
警報器の底面部を取付ベースに当て、警報器が止まるまで右に回してください。



■壁に取り付けるとき

- 手順①
壁面の柱などが通っている場所に、向きを間違えないように(矢印を上にする)取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。



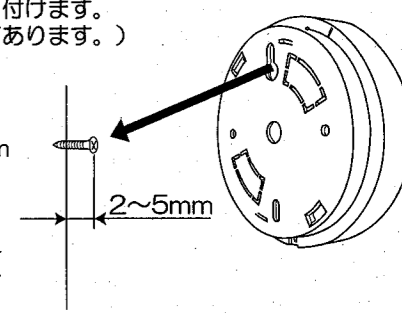
- 手順②
警報器の警報停止ボタンが下になるように取付ベースと合わせ、止まるまで右に回してください。

■壁に掛けて取り付けるとき

- 手順①
警報器と取付ベースを取り付けます。(製品出荷時は取り付けてあります。)

- 手順②
取付ネジを壁の途中までねじ込んでください。(ネジ頭と壁の間が2~5mmの範囲になるまでねじ込んでください。)

- 手順③
取付ベース背面にある取付穴に、ネジ頭を引っかけてください。





■取付工事

セコムにて取付をご要望される場合、お客様サービスセンターまでご連絡ください。別途有償にて取付工事を承ります。

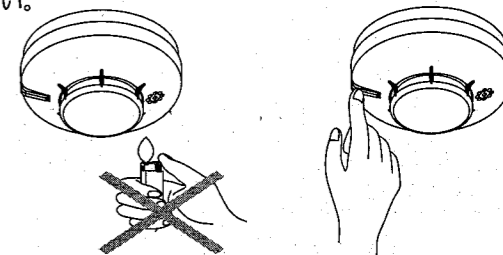
11.お手入れ方法

・毎年1度は、中性洗剤を浸して十分に絞った布で警報器の汚れを拭き取ってください。この際、煙流入口に触れないように注意してください。なお、煙流入口に著しい汚れが付着している場合は、火災を感知できない恐れがありますので、機器を交換してください。

	警報器を水洗いしないでください。また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。
	警報器を改造、分解しないでください。警報器は精密に調整されていますので、正常に作動しなくなる恐れがあります。

12.テスト方法

取付後は定期的に(1ヶ月に1度)または、3日以上留守にされたときは、テストボタンを押して、警報器が正常に作動するかテストしてください。





テストの結果は、音声警報と警報灯で判断できます。

- ・「ピピ、ピー、ヒュー、ヒュー、火事です。火事です。」と鳴り、警報灯が点灯
→警報器は正常に監視しています。
- ・「ピピ、ピ、電池切れです。」と鳴り、警報灯が1回点滅
→機器交換の目安(電池寿命)です。警報器を交換してください。
- ・「ピピ、ピピピ、異常です。」と鳴り、警報灯が3回点滅
→センサーの感度が劣化しています。警報器を交換してください。

■テストボタンを押しても何も音が鳴らない場合は、電池の未接続、電池寿命、または警報器の故障が考えられます。

■煙を直接入れて試験を行い、警報停止ボタンにより音声警報を停止したときは、約5分間テストができなくなります。

	テストのとき、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器を壊すばかりでなく、火災の原因になります。
	テストボタンを押すときは、安定した台に乗っておこなってください。転倒してけがをする可能性があります。

13.警報器の廃棄について

本警報器を廃棄する際は、市町村によって定められたルールに当たってください。(電池はリチウム一次電池を使用しており、水銀は含まれていません。)